

教科【社会】・種目【公民的分野】

書名 項目	新しい社会 公民	2 東 書
内 容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「スキルアップ」コーナーで公民分野の基礎的・基本的な技能を身に付けることができる。さらに、「集める」「読み取る」「まとめる」と細分化されているので、場面に応じたスキルを身に付けることができる。 ○「分野関連マーク」によって、地理や歴史の内容を踏まえた公民の知識の習得ができる。また、二次元コードを読み取ることで地理や歴史と関連した資料をすぐに確認することができ、理解が深まる。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Yチャート、マトリックス、ウェビング、クラゲチャートなどの思考ツールが、随所で使用例とともに記載されているので、思考したことを整理しやすくなっている。 ○思考力・判断力・表現力等を効果的に育成するため、現代社会の見方・考え方を活用して考察する場面を示した「見方・考え方」や、小集団の協働的な活動を行う「みんなでチャレンジ」が設定されている。 ○学習課題を解決するために、各ページに「チェック&トライ」が設定されているので、どのようなことに注目して考えればよいか明確になっている。 <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各ページの左上に導入資料が記載されており、写真のみではなく、単元によりグラフ、表など様々な資料が掲載されており、興味を引くような工夫がされている。 ○導入資料と学習課題が連動しているので、導入から本時の内容へスムーズに入れる。 ○「教科関連マーク」によって、他教科とのつながりが分かりやすく、教科横断的な学習を展開することができる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○全てのページに写真、グラフ、表などの資料がバランスよく配置されている。 ○学習効果を高めるために、各章の導入等に他分野・他教科との関連を示すマークが付され、多面的・多角的に学習を進められるよう工夫されている。また、二次元コードから他分野・他教科の内容を確認し、動画が活用できるようになっている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の文字の大きさが読みやすく、スムーズに読み進めることができる。 ○章ごとに色分けがされているので、何を学んでいるのかを把握しやすい。 ○イラスト等は、落ち着いた色で配色がされているので、視覚に優しい。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページで導入、展開、終末の1時間の授業の流れをつくりやすい。また、「チェック&トライ」を行うことで、本時の内容をより深く定着させることができる。 ○章の導入の活動を通して、単元を貫く「探究課題」を立て、課題の解決を通して獲得した知識をまとめにおいて活用し、振り返る流れとなっている。 ○身近な事例を基に見方・考え方を働かせて現代社会の課題を追究・解決できるよう「まとめの活動」が設定されている。 	

教科【社会】・種目【公民的分野】

書名 項目	中学社会 公民 とともに生きる	17 教出
内 容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各ページに側注解説が付いているので、本文の内容を深めることができ、重要語句とそれに関わる知識も身に付けることができる。 ○各章の導入で学習テーマに関連する実社会の写真資料や身近な例を示し、巻頭・巻末・終章において、SDGs というテーマを取り上げることで、個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。 ○グラフや表には「読み解こう」というコーナーが用意されており、何を読み取れば良いかの説明があるので、グラフや表の正しい読み取り方を学ぶことができる。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各ページの本文の上に設定されている学習課題は、「どのような」「どうしたら」「なぜ」など、自らの考えも必要な課題設定になっている。 ○グループ活動等を紹介する「公民の技」やディベート等の表現活動を行う「言葉で伝え合おう」など、思考力・判断力・表現力を効果的に育成するコーナーが設定されている。 ○「確認！」では学んだことを振り返ると同時に、「表現！」においてさらに自らの考えを表現する場が設定されているので、「確認！」「表現！」をつなげながら学習を進めることができる。 <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各ページの左上には、写真を中心とした資料が多く掲載されており、使用しやすい。 ○「公民の窓」では、本文で学ぶ内容が現代社会においてどのように行われているかが掲載されているので、結びつけて考えやすい。 ○小学校で学んだこととの関連、他教科との関連、SDGs のどの項目と関わりが深いかなどが掲載されているため、教科横断的な学習や発展的な学習につなげることができる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや表は、最近のデータを使用しており、現実社会の出来事として捉えやすい。 ○グラフは色分けがされ、ユニバーサルデザインに配慮しており、読み取りやすい。 ○写真は現代のものだけではなく、歴史や地理に関わりがあるものも掲載されているので、地理や歴史と関連付けて学ぶことができる。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の文字の大きさが読みやすく、スムーズに読み進めることができる。 ○政治の学習、経済の学習等と色分けされているので、内容について把握しやすい。 ○4人の中学生のイラストが所々で登場し、学習を進める上でのヒントを出してくれるので、学習を進めやすく、親近感をもって学習に取り組むことができる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○目次よりも前に、SDGs についての説明のページがあり、この教科書で何を重要視しているのかが明確になっている。公民の学習との結びつきが把握しやすい。 ○「公民の窓」という38テーマがあり、日本や国際社会の情勢について認識を深めることで社会参画する態度を養うよう工夫されている。 	

教科【社会】・種目【公民的分野】

書名 項目	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	4 6 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">帝 国</div>
内 容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入で日常の社会生活を俯瞰したイラストを示し、そこから学習を開始するとともに、各章の振り返りでもそのイラストを再度利用してまとめを行うことで、個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。 ○「技能をみがく」では、新聞等の読み取り方やシンキングツールの効果的な使い方が提示されているので、どのような技能を身に付ければ良いかがよく分かる。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクティブ公民」のコーナーでは、学んできた学習をもとに、自らの考えを様々な事例に沿って判断する場が設定されているので、表現力育成に力を入れることができる。 ○各ページには、「確認しよう」で特に重要な語句の知識を深め、「説明しよう」では、その重要な語句をもとに自らの考えを書くので、二段階で表現力の育成を図ることができる。 ○各章の最後に、「見方・考え方を働かせて考えよう」が設定されており、それぞれの章の学習課題を振り返りながら、自らの言葉でまとめられるようになっている。 <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部、章、節ごとに単元を貫く学習課題が設定されているので、見通しを持った授業を展開することができる。 ○各部の最初のページには、毎回同じ架空の都市が登場するので、多面的・多角的な学習を行うことができる。また、親しみやすいイラストなので、興味関心を高めることができる。 ○「アクティブ公民」では、現実社会に見られる様々な課題が設定されている。グループ学習を通して様々な立場を踏まえた上で合意形成を目指す議論を行うことで、課題の追究・解決に向けて取り組めるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページには、その内容に関連した過去の写真も掲載してあるので、歴史との関連を深めながら学習を進めることができる。 ○学習効果を高めるために、二次元コードを利用することで、PC等での資料の閲覧や関連動画の視聴、振り返り問題の解答確認ができるようになっている。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文は、ユニバーサルデザインを意識した字体、行間の幅にも余裕があるので読みやすい。 ○重要語句は太文字にし、字体も変えてあるので、一目で何が重要であるか判断しやすい。 ○本文、写真の説明、グラフの説明、解説ごとに字体を変えているので、きちんと整理して教科書の内容を読み取ることができる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○公民的分野の学習の全体像を見通すことができるページがあり、指導の計画をつくりやすい。 ○多面的・多角的な授業を展開するうえで、例えば、「先輩たちの選択」というコラムがあり、その単元に沿った職業の方々インタビュー形式で紹介され、学んだことと職業を関連付けて内容を深めることもできる。 ○章のはじめに単元を貫く「章の問い」が明示され、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。「アクティブ公民」では、様々な立場の違いにより起こる対立から合意形成を目指す活動を通して、社会参画する態度を養うよう工夫されている。 	

教科【社会】・種目【公民的分野】

書名 項目	中学社会 公民的分野	116 日 文
内 容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入では、身近な場面から学習内容と「見方・考え方」を示しつつ、章末では、社会の課題を考察・構想することで、個人と社会との関わりを中心に学習理解が深められるよう工夫されている。 ○情報の読み取り等を行う「情報スキルアップ」や思考ツール習得のための「シンキングツール」が適宜設定され、効果的に技能を身に付けられるよう工夫している。 ○「アクティビティ」のコーナーでは、グラフや表、写真等をもとに、どう読み取れば良いかの課題が設定されているので、技能を高めることができる。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各ページに設定されている学習課題の下には、その課題に対しての「見方・考え方」があり、どのような視点で課題解決に向かえばよいかを示されており、思考力等を高めるために非常に有効である。 ○「確認」では、そのページの重要語句を使って説明する課題が設定されているので、自らの言葉で説明することで、表現力の育成をすることができる。 ○「深めよう」では、そのページの重要語句をさらに掘り下げる課題が設定されており、自らの判断力を育成することができる。 ○シンキングツールマークが表記してあり、どのツールが学習に適しているかを例とともに説明しているので、的確に使用することができる。 <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各編の導入では、その編で働かせる見方・考え方を概観する漫画が掲載されており、見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○各ページには、導入になる資料と、それに関する課題が設定されているので、どのようなことに注目して学習を進めればよいか明確化されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○写真が学習内容とリンクしているので、資料の読み取りや思考を深めるなど、1枚の写真から様々な学習を展開することができる。 ○「デジタルマーク」の掲載ページは、ホームページから理解を補助する動画やワークシート等を利用できるようになっている。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各ページにインデックスがあるので、現在学んでいる内容が、政治なのか経済なのかの見分けがしやすい。 ○各ページに写真、グラフ、表、イラストがバランス良く配置されているので、学習内容を多面的・多角的に理解することができる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○内容全体を通して学習課題の解決に向けて働かせるべき見方・考え方が示されている。様々な活動を通して多面的・多角的に思考することで学びが深められるようになっている。 ○思考ツールの使用方法が丁寧に説明されているので、思考力、判断力、表現力の育成に力を入れることができる。 	

教科【社会】・種目【公民的分野】

書名 項目	新しい公民教科書	225 自由社
内 容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の最初に学習課題が設定され、最後に授業でおさえるべき確認事項をまとめた「ここがポイント」が示されている。これらの学習過程を通して基礎的・基本的な知識を習得させることができる。 ○重要語句の脚注解説が丁寧に書かれているので、知識を深めるとともに、その重要語句を軸に幅広い知識を習得することができる。 ○各ページのグラフや表の数が多くても2種類程度のため、学習のねらいに沿った資料の読み取りが可能である。 ○「もっと知りたい」のコーナーでは、学習内容に沿った現代社会との結びつきを学ぶことができるので、習得した知識をさらに深めることができる。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習のまとめと発展」では各章で学んだ課題がいくつか提示してあり、400文字でまとめることになっているので、自らの表現力を高めることができる。 ○「アクティブに深めよう」では、学習内容をもとに、自らの思考力を高める課題の設定や、新聞の読み比べを行うことで、判断力の育成を図ることができる。 <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史との関連が深い学習内容の際には、写真や人物等の様々な資料が掲載されているので、歴史とのつながりを意識させながら学習を進めることができる。 ○日本の様々なことを学ぶ際は、「わが国」と表記しているので、国家及び社会の形成者として必要な主体性を高めることができる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史との関わり深めるために、歴史分野で使用された写真等の資料が多く掲載されている。 ○学習効果を高めるために、各単元の見開きには「ミニ知識」というコラムを設け、学習内容の理解をより深めようと工夫されている。 ○巻頭で「世界に誇る日本の先端技術」、巻末で「日本の伝統的工芸品」の特集が生まれ、我が国の理解を深める工夫が見られる。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○「ここがポイント！」では、このページのどこに注目すればよいかが示されているので、学習課題解決へねらいを絞りやすい。 ○各ページの学習内容のタイトルの前の数字が各章ごとに分かれておらず、教科書全体で通し番号で表記されているので、全体から今現在どこを学習しているのかを把握しやすい。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○日本という国を主体的に捉えられるような表現が多いので、自らの課題として思考し、判断する力を高めることができる。 ○各小単元の学習課題を解決するための視点は、各ページの最後に記載されているため、学習の見通しをもって取り組めるようになっている。 ○終章のレポートと卒業論文、ディベート等、習得した知識を活用し、学習内容を補足・深化させるよう工夫されている。 	

教科【社会】・種目【公民的分野】

書名 項目	[最新] 新しいみんなの公民	227 育鵬社
内 容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入「入口」では、学習内容の大筋をとらえる活動を示し、各章の章末「これから」では、社会に見られる課題について考察・構想することで、個人と社会の関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。 ○地理や歴史とのつながりが示されており、公民的分野で新たに身に付けた知識と関連付けて習得できるので、知識を深めることができる。 ○側注解説では、その語句の歴史的背景、外国との比較など、関連する知識も広げることができ、知識をより定着させることができる。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページの右下には、学習の振り返りとして、そのページで学んだ重要語句を使いながら、自分の言葉での説明や考えを書く課題が設定されているので、思考力や表現力の育成を行うことができる。 ○「学習を深めよう」では、重要な語句をより詳しく説明したり、現実社会との結びつきを学べたりするので、話し合い活動等につなげやすい。 <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開き1ページの左上には、導入資料として写真やグラフ、表などが掲載されているので、活用しつつ学習内容に入りやすい。 ○各章の「入口」では、章全体の内容を概観するためのグループ活動が設定されており、学習内容の見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○各章末には、章で学習した内容を踏まえて、社会に見られる課題を自分事として考えさせ、社会参画への態度を養えるように「これから」が設定されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習効果を高めるために、図版や写真等の資料を大きく見せて掲載している。 ○学習内容を深化させるための「学習を深めよう」や、学習を発展させるための視点を示す「TRY」が設定されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○必要以上にイラストなどを載せていないので、本文をしっかり読み込むことや資料を正しく捉える学習に適している。 ○地理で使用したグラフや表、歴史で登場した写真が掲載し、3つの分野を結びつけている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○冒頭に公民を学ぶ理由について様々な角度から記載している。 ○章の内容を「入口」で概観させた上で学習を積み重ね、「これから」で現代社会に見られる課題の解決や未来の姿について構想させる流れとなっている。 ○「やってみよう」では、様々なテーマについてディベートやシミュレーション等の参加型学習ができるよう工夫されている。 ○SDGsを基準とした内容で構成されているので、持続可能な開発とは何かという全体的なテーマをもって学習を進めることができる。 	